

平成24年度 石垣市観光開発審議会 意見対応表

◇ 概 要

石垣市観光開発審議会はこれまで所掌事務として、「市長の諮問に応じ、石垣市の観光開発に関する基本的な計画の策定及びその推進について調査及び審議する（規則第2条）」と規定され、石垣市観光基本計画策定に際しその答申を行っています。今回、平成22年度に策定された「石垣市観光基本計画」の諸施策の推進を図る推進体制として審議会を位置づけるにあたり、新たな所掌事務として「審議会は、各年次の観光施策及び観光事業について、建議及び評価を行う」ことを追加しました。今回の審議会はその趣旨により発足して、石垣市観光基本計画の進捗状況や推進の方法について意見交換と石垣市観光白書（仮）を作成することについての承認を審議しました。

《審議事項》

- (1) 石垣市観光基本計画の推進について（意見交換 ※下記に意見対応表）
- (2) 石垣市観光白書（仮）について（承認事項）

[石垣市観光白書（仮）について承認されたこと]

名 称：『石垣市観光施策の年次レポート』

開始年度：平成24年度

構成（記載項目）：石垣市観光の近況 / 旧年度の施策評価 / 新年度事業の概要説明

意見対応表

意見交換での主な意見に対する考え方及び対応を下記に整理します。

意 見	考え方及び対応
昨年度の事務事業を見ても継続事業が多い。継続事業も大切だが、観光基本計画に掲げている新しい魅力という点から言えば、新しい事業の取り組みが必要。	平成24年度は沖縄振興特別推進交付金（一括交付金）による新規事業を計画しています。新石垣空港の開港をPRする国内誘客プロモーション、新空港での国際定期便就航の実現化を図る国際定期便誘致事業、スポーツキャンプや合宿の受け入れによる地域活性化を目指すスポーツ！ウエルカム！石垣島！事業、国立天文台石垣島天文台へのレクチャールームの増設などの事業が挙げられます。
観光従事者への観光基本計画の認知度が低い。観光従事者が集まる機会をつくって欲しい。	『石垣市観光施策の年次レポート』の公表で観光行政の見える化を図るとともに国際定期便誘致事業にて予定するシンポジウム、観光基本計画の実施計画を策定するプロセスにおいて観光従事者はじめ市民との意見交換等の機会創出を検討します。
どの事業にどれくらいお金が使われているかなども知りたい。	『石垣市観光施策の年次レポート』では予算額等の費用規模も掲載します。

サッカーパークあかんまについて稼働率が低いなどの意見もあるが、施設の利用についても議論できる資料が欲しい。	施設の利用については、別途、指定管理者等の意見交換やスポーツ！ウエルカム！石垣島！事業等での施設活用を検討していきます。
例えば、あかんまではどのような年間活用予定があるかなども資料として知りたい。	
マリンダイビングフェアでのダイブ&トラベル大賞では世界2位のパラオと接戦している。是非、観光関係者にも投票にご協力をお願いしたい。	ダイビングによる観光誘客は本市の観光誘客に大きく寄与しています。その魅力をさらにPRするために盛り上げていく方法についてはブラッシュアップを図ります。
イベントポスターが出てくるのが遅い。チラシなどは早めにつくって告知しないと県外からの誘客につながらない。	貴重なご意見として留意いたします。インターネット及びソーシャルメディアの活用も図り、情報発信の仕掛けづくりに取り組みます。
新空港での観光案内所について	観光協会はじめ関係機関との調整を行い、また財政面での調整も行って石垣市の玄関口である空港での観光案内業務の持続的なあり方を検討いたします。
港や空港での両替所機能をどうするか？	新空港についてはテナント業者のみなさんに何らかの協力をして頂けるかなど含め引き続き検討していきます。
ギネスに挑戦のBBQイベントは抜群の効果があったと思うが、次のどのよう展開していくのかが見えない。	商工振興課や商工会と連携して商品開発などの仕掛けづくりに取り組みます。
観光は各部門にまたがるので、庁内の連携を行って頂きたい。	観光交流推進課だけでなく、他の部署での観光関連事業を整理するなど総合産業としての観光の各分野とのつながりを把握して、連携した取り組みを行います。